

学校だより



笑顔の輪

青郷小学校



冬の朝に

「冬はつとめて。雪の降りたるはいふべきにもあらず」とあるように『枕草子』では、最も冬らしく美しいとされる時分に「つとめて」を挙げています。「つとめて」とは「早朝」のことです。しかしながら、子供たちや保護者の皆様にとってはそう簡単に「冬の朝は趣がある」とは言えないのではないのでしょうか。本校の場合、中には、まだ暗い内に起きて学校に行く準備を始める子供たちが少なくはありません。お家の方は、朝食の準備や着替えなどをさせるためにさらに早くから準備をされているのではないのでしょうか。

そして、家を出ると雲が重くのしかかり太陽が見えず、日によっては雨交じりの冷たい雪が横殴りに降ってくることもあります。路面も滑りやすいです。そのような中を、高学年は低学年に気を配りながら、また、低学年の子供たちが小さい歩幅で必死について行こうと頑張っている姿を見るとお互い本当に立派だと思います。

冬場の集団登校はたいへんなことも多いですが、それを乗り越えて子供たちは学校にやってきます。教室に入って重いランドセルを置き、ほっとして、時折見せてくれる笑顔は、私たち教師を「今日も一緒にがんばろう」という気持ちにさせてくれます。

徐々に暖まっていく冬の朝の教室で、子供たちの笑顔からたくさんのエネルギーをもらい、子供たちの後ろに見えるお家の皆様の我が子への期待と愛情の大きさを思うにつけ、その気持ちや願いにしっかりと答えられるような学校でなくてはならない。そのような気持ちにさせてくれる冬の朝です。



保育所から新1年生が本校へ、6年生は、高浜中学校へ

6日（木）に新入生1日入学を行いました。あいにくの雪模様となりましたが、4月から本校に入学する保育所の子供たちが、長い距離を歩いて学校に来てくれました。学校では校舎探検や、1年生との交流などで楽しい時を過ごしました。

また、同じ日に6年生が高浜中学校の体験入学に参加し、他校の6年生と一緒に先輩との交流や、授業の様子を見せてもらいました。

新1年生が安心して入学できるように、そして6年生が希望と自信を持って卒業できるようにしっかりと準備をしていきたいです。



新型コロナウイルスへの対策に取り組んでいます

ニュースなどで連日、新型コロナウイルスによる肺炎の感染について報道され、国内でも小学生の感染が確認されるといった厳しい現状となっています。学校でも来校者のアルコール消毒の徹底や予備のマスクの確保などに取り組んでいます。

また、いつも以上に教職員の健康管理や給食の配膳に係わる衛生面の管理の徹底も行っています。先日お便りで、この件に県に関してお家でお世話になりたいことをお伝えしました。マスクを確保することの難しさなどもあり、対応に苦慮することもあります。ご家庭としっかり連携して子供たちの健康管理に努めて参ります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



学校の行事や特色ある活動、子供たちの学校生活の様子や校内の様子などをブログでも紹介しています。右のQRコードからもアクセスできます。なお、ブログの写真は、プライバシーの保護や児童の安全面を考慮して、ぼかしを入れたり画素数を落として掲載していますことをご了解ください。

